

2021 年度「大谷大学公開講演会」（旧 同窓会八十講）講演

共通テーマ「出会うということ」

本講演のテーマ「出会うということ ー親鸞聖人と聖徳太子ー」

織田顕祐

1. 自己紹介と「テーマ」の説明
2. 歴史上の人物としての「厩戸（個人名）」と「聖徳太子（宗教的尊格）」の違い
3. 親鸞は求道の最初から最晩年まで太子に背中を押されて歩んだ人
 - ・ 高田「三夢記」から「太子和讃」「御記」の執筆まで、節目節目に「夢告」を得た。
 - ・ 東本願寺伝道ブックス 82『親鸞聖人と聖徳太子』に夢告の原文を載せてある。
磯長夢告は 6 ページ、康元 2 年の夢告は 38 ページ参照。
 - ・ しかし、『教行信証』に太子は一切登場しない
4. 「大乘を公開する」という二人の共通点
 - ・ 『教行信証』はどう見ても大乘仏教の思想書である
 - ・ 一方、太子信仰は日本における仏教土着に関する問題か？
南岳慧思後身説話 → 八世紀後半（奈良から平安初期）→ **大乘戒**の問題
救世観音化身説話 → 10 世紀後半（律令政治の転換期）→ **苦しみの自覚と救済の要求**。（同じような時代に源信『往生要集』が書かれている）
皇太子仏子勝鬘比丘説話 → 同上 → 勝鬘経は**摩訶衍(大乘)**を根本としている。
 - ・ この両者の重層に親鸞聖人の立ち位置がある。